

2025年発行の「広報なばり」から、等身大の魅力をご紹介します

オモローカル

つうしん

Vol. 03



名張が大好きなら、
隠れてなんかられない
(隠 BALIBALI NABARI fes)

なばり
三重県 名張市

いつの間にか、周りが面白い人でいっぱい

私は、蔵持獅子神楽保存会の「子ども天狗」1期生。地域の皆さんに声をかけてもらいながら育ってきました。長女も、女の子初の「子ども天狗」として楽しく活躍しています。

ある日、市民センター祭の企画を任せられることに。頭に浮かんだのが、市内の獅子舞が集った「なばり獅子フェス」でした。消防団などでつながりのある2団体に声をかけると、「喜んで！」と二つ返事。おかげで、普段秋祭りに足を運ばない人にも喜んでもらえましたし、自分たちもワクワクできました。

獅子舞、消防団、市民センター祭…。どれも、人に誘われて始めた活動です。頼られると嬉しいし、面白そうなことはやってみたい。そのうちに周りに面白い人が増えてきました。「ばりフェス」もその一つです。みんなと関わる中で、地域愛があふれてきた気がします。



親子2代「子ども天狗」で活躍



他地域の獅子舞と連携したイベントも



児童が楽しめる防災訓練を企画



名張の魅力を発信する仲間「ばり友」と



ブランドロゴ創出ワークショップ



消防団ではローカルヒーローにも変身

名張愛を広げたい！ まちのツナガリスト

市のブランドロゴ創出ワークショップでは、約40人が800もの名張の魅力を出し合いました。知らない発見もあってワクワク！これを広めたいと、「名張が大好きなら、隠れてられない」をテーマに「隠 BALIBALI NABARI fes (ばりフェス)」を開催。ワークショップで意気投合した仲間も誘いました。

名張の一番の魅力は「人」。グルメや特産品、パフォーマンスと共に、来場者には知られざる名張を発見してほしい。そして、一緒に発信する「ばり友」になってくれたら嬉しいです。

私の名張愛が深まったのは、子育ての頃。地域の皆さんに優しく手を差し伸べてもらい、人のつながりの中で子どもを育てたいなって思いました。つながりを大切に、家族と名張で楽しく暮らす。それが私の生きる道です。



蔵持獅子神楽保存会 高山 太一 さん

三児の父。自営業（建築）。獅子神楽保存会や消防団、ばりフェス実行委員会、市民センター祭のボランティアなど地域密着で活動中



2025.1月号 掲載

ばりフェス実行委員会 奥田 春菜 さん

2児の母。5歳のころ大阪から名張へ。消防団活動にも熱心で、防災士などの資格を持つ。ばりフェス実行委員会を立ち上げ、名張の魅力を発信中



2025.5月号 掲載

人も猫も、しあわせな「にゃぱり」にしたい

多頭飼育崩壊の現場に遭遇したことをきっかけに、個人で本格的な保護猫活動を始めました。現在は長女と共に、「にゃにゃ倶楽部」の広報担当として活動しています。

特に力を入れているのが、令和5年から小学校や学童保育などで実施している「命の授業」。保護猫の話を通じ、命の大切さを伝えています。私の活動を見て育った娘は、授業の助手や保護猫のお世話など、できることを自ら探して手伝ってくれています。子どもにもできることがあるんです。

どんなに小さなことでも、みんなが少しずつ行動すれば、未来は変わるはず！猫は動くぬいぐるみではなく、人と同じく心を持つ命です。小さな命も大切にできる人が増えてほしいと願っています。



保護猫が幸せに暮らす姿をみるのがやがいがい



子どもたちへの「命の授業」



自宅で猫を預かり、TNRした猫のお世話も



にゃにゃ倶楽部 柿原 麻衣子 さん

名張市で猫の保護活動をしている元動物看護師。長女と共に、TNR活動や里親会など、猫のために奮闘中。



2025.9月号 掲載



防犯体操の作曲・振付を考案



家族で赤目地域に住むことに



地域のカフェで趣味のピアノを練習

アンパンマンみたいな駐在さんが名張に赴任

防犯の歌に合わせて体操したり、詐欺の事例を夫婦で寸劇したり。詐欺の手口はどんどん変わるので、常に啓発内容を更新しています。

駐在として赴任して以来、赤目地域の皆さんが「今度これやるからおいで！」とイベントなどに誘ってくれるので、すぐに馴染めました。こんなフレンドリーな地域は初めてです。誘われて始めた獅子舞も楽しく、もし異動しても祭りの時期には帰ってきたいな。

私が目指す「アンパンマン」は、まさに駐在の鏡。まちのイベントには仲間と参加し、困っている人がいたら絶対に助ける。そして、住民たちが「アンパンマン」を支えています。妻と二人三脚で地域に密着し、皆さんと力を合わせられる駐在さんを目指し続けます。

赤目警察官駐在所 田中 裕人 さん

松阪市出身。三児の父。2023年に赤目地域の駐在所に着任。地域の集まりや獅子舞に誘われるなど、一住民としても慕われている。



2025.4月号 掲載



赤目四十八滝

2025.10月号掲載

知ればもっと好きになる！ 技と想いが灯す竹あかり



名張の秋冬の風物詩、赤目四十八滝渓谷「滝あかり」。夜の赤目滝を優しく照らす、期間限定のライトアップイベントです。ここで使われる竹あかりを制作・展示しているのは、市内滝之原に拠点を置く「竹雀」の皆さんです。

デザインはメンバーのオリジナルで、手間暇をかけ、熱い思いで制作しています。見る角度で違う景色を楽しめるよう、設置方法もこだわります。作品は、伊勢神宮外宮の参道、伊賀上野城、京都の料亭などでも親しまれています。

地元を光らせたい

私たち「竹雀」は、「地元を光らせる」ことを活動の軸としています。夢は、イベントだけでなく、名張をいつも竹あかりの灯るまちにすること。これからも名張に根付いて、皆さんに感動をお届けできるよう活動していきたいです。

竹雀

愛川さん、辻本さん
中西さん、福岡さん



Instagram



2025.1月号、11月号掲載

集え！獅子魂 響け！鼓動 復活のなばり獅子フェス

名張では、約30もの団体が獅子舞を受け継いでいます。しかし近年、高齢化で活動は縮小傾向に…。そこで2018年、14団体が集まり「なばり獅子フェス」を初開催。ところが、一度高まった機運は、コロナ禍で断ち切られたのです。

それでも2024年、地域の祭りで3団体が復活ののろしを上げ、翌年には初回を上回る16団体が集結。「なばり獅子フェス」は、7年ぶりに復活を果たしました。



名張市 note
動画もみてね

みんなの力で最高の夜に

熱き獅子魂を持つ仲間が集まり、ようやく開催できた「なばり獅子フェス」。うれしかったのは、会場にたくさん子どもたちの姿があったこと。昔の私が獅子舞にあこがれたように、子どもの頃から獅子舞に親しめる場をみんなで大切に残していきたいですね。

なばり獅子フェス実行委員長 中上弘次さん





あなたの好みに小回り対応 移動図書館「やまなみ号」

2025.4月号 掲載



昭和 47 年から走り続ける移動図書館「やまなみ号」は、市民センターや住宅地、小学校、保育所など市内 36 カ所を巡回。約 3,000 冊の本や紙芝居を地域に届けます。

人気の秘けつは乗車スタッフの心配り。「この地域はミステリー好きが多いから多めに」「子どもたちにはこの絵本を」と、利用者に合わせて本を選びます。「フランス料理の本」「〇〇作家の本」など、事前に連絡いただければ、希望の本を持参することもできるんですよ。

ニーズに応えながら、年間 4 万冊以上を貸出



市立図書館
すなお

図書館に来られない方にも本をお届けできる「やまなみ号」。多くの方に利用していただきたいですね。これからも皆さんのニーズに応えながら、より親しまれる『やまなみ号』を目指していきます。

名張市教育委員会 山口 浩司（文化振興担当監）



「ばりっ子会議」から生まれた 市公認キャラ「なばりん」

もみじやいちごのアクセサリ、滝をイメージした髪型、ぶどうのワンピースにメロンの靴。「なばりん」は、名張の魅力がいっぱい詰まった市公認キャラクターです！

考案したのは「ばりっ子会議」の子どもたち。毎年 5 月に募集する小中学生約 40 人が、「こんな名張になればいいな」「こんなものがあればいいな」と話し合います。

「なばりんにもっと活躍してほしい！」という熱い要望に応え、ついに三次元化！イベントなどに多数出演しています。ぜひあなたも、なばりに会いにきてね♪

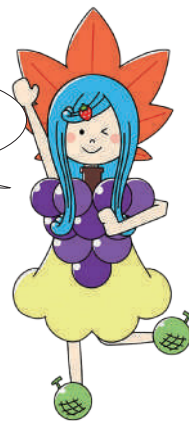


ばりっ子会議

なばりんについて
詳しくは市 HP で！



名張市 HP



子どもたちの「やりたい」を 実現させてあげたいな

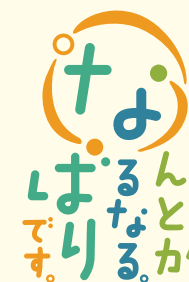
みんなの「やりたい」が飛び交うばりっ子会議。突拍子もない提案も、何とか形にできないかいつも考えています。

ばりっ子会議をサポート（マイク運動推進委員会）
福田 みゆきさん 中谷 幸雄さん

2025.5月号 掲載



市民発！ ブランドロゴ



まちづくりに関わる市民や学生などのワークショップで、名張の魅力を表し、自分たちのまちの姿を共有するブランドロゴをつくりました。

人とつながりたい人やチャレンジしたい人などに名張を知ってもらいたい、疲れている人も名張に来て元気になってもらいたいという思いが込められています。

ブランド
ロゴの物語



SNS 発！感動のひとコマ

日常の感動を
投稿中



名張市公式
Instagram

上の写真は、Instagramで「#名張感動」を付けて投稿いただいたもの。名張の日常の魅力を伝える「感動のひとコマ」です。名張の魅力ある特産品などを贈る「#名張感動」投稿キャンペーンも随時開催！

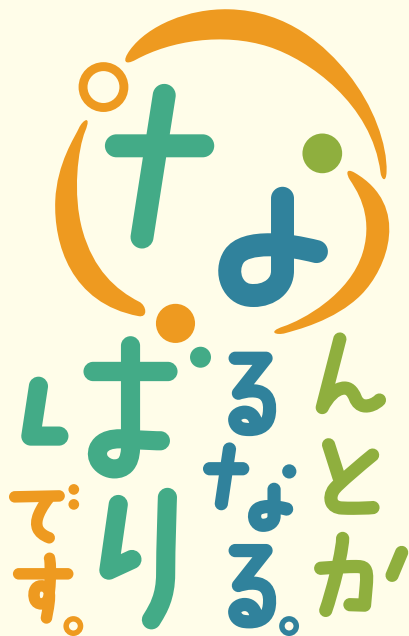


市民ライター
おススメの
名張の魅力

大阪難波発！55分の絶妙な距離

温かい人と人とのつながりや縁を支えに、いろんなことにチャレンジし、楽しく暮らせる「オモローカル」なまち、なばり。大阪難波からは近鉄特急で55分。「遠からず近からず」の絶妙な距離感です。自然もお店も充実の「トカイナカ」は、移住先や都市部の方の「サードプレイス」としてもオススメです！





悩みや不安なことも支え合いでなんとかなる。

人のつながりやあたたかさ、

そして、市民から生まれるさまざまな活動がまちの自慢です。

チャレンジをしたい人や元気になりたい人はぜひ名張へ。

名張の市民が「なんとかなるなる」の精神で受け入れます。

なばりの
魅力満載

オモローカルつうしん 3

2026年3月発行（不定期）

※役職などは広報掲載時のものです

企画 / 取材 / 編集 / 発行 三重県名張市

< 移住・定住ホットライン ☎ 0595-63-7782 >



名張市シティプロ
モーションサイト
子育て情報も！